

日本柔道女子で最年少アジア制覇 ◆南筑高校・素根輝選手が金メダル

インドネシアのジャカルタで開かれたスポーツの祭典・アジア大会。8月31日、柔道女子78kg超級で市立南筑高校3年の素根輝選手が金メダルを獲得しました。日本の女子柔道選手で史上最年少でのアジア大会制覇です。

決勝戦は、昨年の世界選手権3位の金珉程選手(韓国)。身長が約20cm高い相手に、背負い投げで勝利を収めました。素根選手は、9月20日(休)からの世界柔道選手権の混合団体にも出場予定です。



アジア大会の柔道女子78kg超級決勝で金珉程選手(上)を破り、金メダルを獲得した素根輝選手(30年8月31日、ジャカルタ。西日本新聞社提供)



取材した日曜は晴天に恵まれ多くの家族連れでにぎわっていました

甘い宝石がお買い得に ◆ぶどう祭り

観光ブドウ狩りが人気の巨峰開植の地、田主丸町で9月1日と2日、「ぶどう祭り」が開かれました。通常1kg1100円を、1000円で購入できるとあって、同町の47農園は、普段の週末を大きく上回る人出でにぎわいました。

毎年家族でブドウ狩りに来ている小学4年の長谷川翠さん(福岡市)は「大きいのを探して自分で切りました。新鮮でおいしい」と顔をほころばせました。

42組がタイムを競う ◆Eボートフェスティバル

9月2日、筑後川漕艇場でEボートフェスティバルが開かれ、地域や職場のメンバーなどで作る42チームが参加しました。

Eボートは10人乗りの組み立て式手こぎボートで、対岸付近のブイを回って往復するタイムを競います。その日のTシャツやカップの衣装などで出場するチームもあり、炎天下の中、水しぶきを浴びながらイベントを楽しみました。



息の合った動きでボートをこぐ参加者

福岡市の中心で魅力を発信 ◆久留米フェスティバルin天神

9月2日、福岡市役所ふれあい広場で、久留米フェスティバルが開催され、約1万5000人が来場しました。

久留米の観光や暮らしやすさを福岡都市圏の人に発信し、訪れたり、移住したりしてもらうことが目的です。食べ物や物産の販売、観光案内、移住相談などのほか、ステージでは音楽ライブが行われ、1日中家族連れなどにぎわいました。



市の特産品や美術館招待券などが当たる抽選コーナーは行列ができました

市政の動き

局地的大雨での被災を想定 総合防災訓練に700人



土砂で埋もれた家屋からの被災者救助訓練を行う参加者

防災の日の9月1日、市は筑後川の河川敷などで、総合防災訓練を実施しました。自衛隊や警察、消防、医療機関など40団体から約700人が参加。災害時の対応を確認しました。

訓練は、局地的な大雨で河川増水や土砂災害などの発生を想定。川で溺れる人をボートで救助したり、土砂に埋もれた建物から人を運び出したりしました。破損した水道管やガス管、寸断された道路の復旧訓練

や、視界不良で複数台が絡む交通事故の負傷者救助訓練も実施。土のう作成には、災害ボランティアなどを行う市民も参加しました。

訓練本部長の大久保勉市長は、あいさつで7月豪雨に触れ「久留米でも観測史上最大の雨で多くの被害が出た。豪雨災害を踏まえた今回は、実践的な訓練ができたと思う」と話しました。

◎防災対策課(☎0942・30・9074、FAX0942・30・9712)

人権問題に 積極的に対応

久留米市は、「住みやすさ日本一」のまちの実現に向け、人権行政を積極的に進めていくため、(仮称)人権施策推進委員会を設置します。

委員会は、学識経験者や人権関係団体の代表など10人程度で構成。これまでの人権・同和行政の検証を行い、これからの人権行政の基本的な方向性や施策のあり方などについて広く意見を聞きます。初回会合は10月上旬を予定しています。

◎人権・同和对策課(☎0942・30・9045、FAX0942・30・9703)



協定書を掲げる喜多村浩司支部長(左)と大久保勉市長

災害時に優先給油 石油組合と協定

久留米市は、県石油商業組合筑後支部と災害時の燃料供給に関する協定を締結。8月29日に締結式を行いました。

地震や風水害などが発生した場合に、市内43カ所のガソリンスタンドで、災害対応や復旧活動を行う公用車や消防車両などへ優先的に給油。また、医療機関や社会福祉施設、指定避難所など、災害対応で重要な施設へ発電機などの燃料を届けます。

◎防災対策課(☎0942・30・9074、FAX0942・30・9712)



委員会設置を発表した8月29日の記者会見の様子